

障害者雇用の助成金制度

1 国からの助成金

○ 雇入れ関係の助成金

助成金	コース	取扱機関
特定求職者雇用開発助成金	特定就職困難者コース	A
	障害者初回雇用コース	A
トライアル雇用助成金	障害者トライアルコース	A
	障害者短時間トライアルコース	A

○ 雇用環境整備等関係の助成金

助成金	コース	取扱機関
障害者雇用安定助成金	障害者職場定着支援コースなど	A
障害者作業施設設置等助成金		B
障害者福祉施設設置等助成金		B
障害者介助等助成金		B
重度障害者等通勤対策助成金		B
重度障害者多数雇用事業所施設設置等助成金		B

2 県からの助成金

○ 雇入れ関係の助成金

助成金	取扱機関
愛知県中小企業応援障害者雇用助成金	C

A：愛知労働局 職業安定部 職業対策課 あいち雇用助成室：052-219-5519

B：(独)高年齢・障害者・求職者雇用支援機構 愛知支部 高年齢・障害者業務課：052-218-3385

C：愛知県産業労働部 労政局 就業促進課 高年齢者・障害者雇用対策G：052-954-6367

2019年1月発行

愛知県健康福祉部障害福祉課 〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

TEL:052-954-6697(ダイヤルイン) / FAX:052-954-6920

ホームページ <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shogai/>

めざそう!!

豊かな共生社会

- 障害者の採用に向けて -



愛知県では、共生社会を実現するため、2016年10月に手話言語・障害者コミュニケーション条例を制定しました。この条例の理念に基づき、障害者の雇用促進に向け作成したリーフレットです。

P1

障害者を採用する → 3つのファーストステップ

ステップ

① 障害の特性を理解して、まず採用してみる

ステップ

② 採用をするのに最低限必要なコミュニケーションを工夫する

ステップ

③ 本気でその人が十分活躍できる舞台を用意する

障害者を採用すると得られる → 3つのメリット

メリット ① 健常者も障害者もそれぞれの能力を活かす土壌ができる → 労働力の確保

メリット ② コミュニケーションが円滑になり、関係性・チーム力が向上する → 職場の活性化

メリット ③ 他の職員にとっても働きやすい環境になる → 共生社会の実現

障害者雇用率制度 全ての事業主は、従業員の一定割合(=法定雇用率)以上の障害者を雇用することが義務付けられています。

事業主区分	法定雇用率		
	2018年3月31日まで	2018年4月1日以降	2021年4月までに
民間企業	2.0%	2.2%※	2.3%
国・地方公共団体等	2.3%	2.5%	2.6%

※雇用しなければならない民間企業の事業主範囲が、従業員50人以上から45.5人以上に変わりました。

例: 120人 × 2.2% = 2.64人
(従業員数) (法定雇用率) 2人(小数点以下切り捨て)

*短時間労働者や重度障害など、例外があります。

視覚障害

全く見えない場合(全盲)と見えづらい場合(弱視)があります。白杖をもっていたり盲導犬を連れている人もいますが、外見から視覚障害と分かりにくい人もいます。

- ・視力障害(物のかたちや存在を認識できない)
- ・視野障害(周辺部、真ん中、左右など見えない部分がある)
- ・色覚障害(色の微妙な違いの区別がつかない)
- ・暗い所や明るい所では見にくい、物が二重に見える等

知的障害

18歳くらいまでに、知的な能力が年齢相応に発達していない脳の機能障害です。「言葉を使う」「記憶する」「抽象的なことを考える」ことに時間がかかります。

盲ろう

視覚と聴覚の両方に障害があることを言います。程度により4つに分かれます。

- ・全盲ろう(まったく見えず、聞こえない)
- ・盲難聴(まったく見えず、聞こえにくい)
- ・弱視ろう(見えにくく、聞こえない)
- ・弱視難聴(見えにくく、聞こえにくい)

発達障害

脳の機能障害のために生活上の困難さがありますが、優れた能力が発揮される場合もあり、発達のアンバランスな様子が理解されにくい障害です。持っている特性は一人一人違います。

聴覚障害

(ろう・中途失聴・難聴)

様々な障害の特性

全く聞こえない人から軽度難聴の人まで、聞こえる程度は一人一人違います。聞こえなくなった時期(年齢)、生育環境等個々の状況により、補聴器や人工内耳で「聞こえ」を補うことのできる人、手話言語、口話、読話、筆談、要約筆記などの方法によりコミュニケーションを図る人等、様々です。

精神障害

統合失調症や躁うつ病などの精神疾患のために「意欲や自発性がない」「集中力や持続性がない」などがみられることがあります。薬物療法や環境が安定することにより症状が改善します。

肢体不自由

上肢・下肢に欠損やまひ、体幹の機能障害が生じ、日常の動作や姿勢の維持に不自由があります。

高次脳機能障害

事故や病気によって脳に損傷を受けたことで生じる記憶障害や注意障害、行動障害などの後遺症をいいます。外見で分かりにくいため、「見えない障害」と呼ばれることもあります。

筋萎縮性側索硬化症(ALS)

身体を動かすための神経系が変性する病気です。原因不明な進行性の難病です。身体が動かなくなりますが、物事を理解する能力は変わりません。

※障害者雇用率の算定には原則として身体障害者手帳、療育手帳、知的障害者判定機関の判定書及び精神障害者保健福祉手帳の確認が必要です。



株式会社山田商会
経営管理本部
総務部次長兼人事部次長

木田 詞也 様

竹内 和沙 様

視覚障害



挑戦が成長に繋がる

障害に対する理解をした上で、きちんと教育することを目指しました。将来、どのように仕事をしていきたいか考えをしっかりと聞き、本気で向き合うことが大切だと思っています。どの業務が合っているか1~2年様子を見ながら周りとも良く話し合い、業務のマッチングをすることが大切だと考えています。彼女は仕事に対する意識が高く、勉強してパソコンスキルも上級になり、新入社員へのパソコン指導を担当するまでになりました。本人も成長を感じており、お互い良い結果に繋がっていると思います。

竹内さんの声

「愛知県障害者職業能力開発校」の委託事業の元、名古屋ライトハウスでパソコンの職業訓練に通い、データベースソフトのアクセスやVBAもできるようになりました。社内報作成では、デザインすることはできないので、インタビュー等、自分でできることは何でもやっています。失敗したり分からないことがあった時は、周りの人たちが、何故できなかったのか、どうすればよいのかを一緒に考えてくれるので、それも成長に繋がっていると思います。



取材企業

株式会社山田商会 愛知県名古屋市熱田区桜田町 19-21



フィード・ワンフーズ株式会社
管理本部
管理部長

内井 明広 様

辻 美由紀 様

知的障害



障害の特性による仕事の切り分け

本人の能力に合わせて仕事の切り分けをすることが大切だと考えています。働くことに不安を持っていらっしゃる親御さんともよく話し合いをします。彼女は現在、ケースを洗う仕事をしています。ずっと同じ仕事をしてきたわけではなく、できるようになったら別の仕事にシフトしたり、段階的にステップアップしています。19歳で入社し、約23年と長く働いてくれています。弊社はライン作業や覚えやすい仕事が多いので、彼女の障害の特性に合っているのだと思います。一人一人ができることを見出すことが、私たちの大事な役目ではないでしょうか。

辻さんの声

仕事も周りの人と話すのも毎日がとても楽しいです。仕事以外では、水泳、エレクトーン、手芸、料理とたくさんの趣味があります。水泳の大会では優勝もしました。これからも、仕事・趣味と楽しんで頑張りたいです。



取材企業

フィード・ワンフーズ株式会社 愛知県豊田市秋葉町 8-31



Man to Man Passo 株式会社
取締役社長

豊田 聖 様

鶴見 孝二 様

筋ジストロフィー



新卒者の採用と同じこと

障害者を採ると考えずに人材を採ると考えれば、特別なことは何もなく、新卒を育てることと変わりないと思っています。仕事のことで涙を流しながら熱く議論をして、障害者も健常者も変わりなく体当たりでぶつかったこともあります。障害者と接したことのない人ほど変に構えてしまうと思いますが、しっかり向き合えば実際には健常者と何も変わらないことが分かるはずです。障害者側も意見を言ってくれる者が多いので、お互いに正面から向き合えば信頼関係も築けていけると思います。

鶴見さんの声

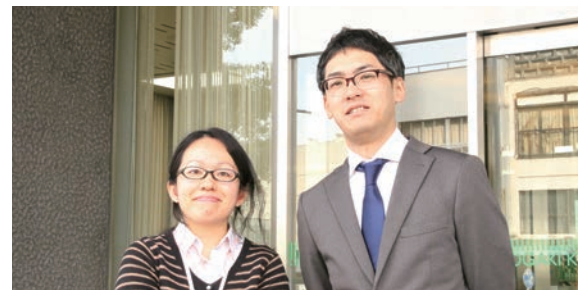
ホームページの制作をしています。どんどん新しいことを覚えなくてはいけない分野ですので日々勉強です。何でも任せられる分、責任も大きいですが、上司は「一生懸命考えてやった結果、失敗したことに対しては自分が責任を持つ」と言ってくれるので、思い切って挑戦することができます。



取材企業

Man to Man Passo 株式会社

愛知県名古屋市中区熱田区神宮三丁目7-26 たから神宮ビル7F



大垣共立銀行
人事部 人事企画課
調査役

後藤 雅典 様

塚本 麻衣 様

聴覚障害



ひとりひとりと向き合う

障害者一人一人としっかり向き合い、戦力としてみるのが大切だと考えています。採用には力を入れていて、面接は複数回行い、しっかり話をしてどの業務に適しているかを判断します。早く周りに溶け込めるように実習やインターンシップも行っています。私は人事部に異動するまで障害者と接する機会がなく戸惑いもありましたが、健常者を面接するのと変わりなく、特別意識をする必要がないことも分かりました。彼女は、聴覚に障害がありますが、日頃のコミュニケーションも、口話・読話やジェスチャー、筆談を利用しており仕事にも支障がありません。むしろとても優秀で、色々とお助けしてもらっています。

塚本さんの声

人事部でデータ入力や集計、新卒採用等の仕事をしています。初めてやる仕事は文字起こししてもらって指示を受けますが、やったことがある仕事は、特に指示を受けず分からなかったら聞くようにしています。最初はパーツごとで仕事を頼まれていましたが、最近は一貫して仕事を任せられるようになったので、やりがいを感じています。



取材企業

大垣共立銀行 岐阜県大垣市郭町三丁目98番地